



ご当地 **太坊さん** 茨城

茨 歯 会 報

No.635

茨城県歯科医師会
Ibaraki Dental Association

July
2022
令和4年

7





Contents

デンタルアイ	1
柴岡 永子	
理事会報告	4
会務日誌	5
センターだより	7
専門学校だより	8
地区歯科医師会だより	9
寄稿	10
柴崎 崇	

表紙写真について

水戸市にある保和苑の紫陽花

徳川光圀公が大悲山保和院桂岸寺の庭を愛されたのが始まりで、その後保和苑と名付けられ、1.5haの敷地に約100種、6000株アジサイが咲き競う。周辺には水戸藩の志士の墓もあります。

(社) 珂北歯科医師会 成井 敏幸

広報と報道について考える



理事
柴 岡 永 子

昨年の日本の朝はコロナ禍の非常時にもかかわらず、ひとときのホッとした気分させられるニュースで始まりました。大谷翔平選手の大リーグでの大活躍です。数字で表す経済効果よりも私たち日本人の心の浄化作用に抜群の効果を発揮したと思っています。

また大リーグに関心が無く、あまり球団名も知らない日本人の多くが「エンゼルスとショウタイム」を知るようになっております。今やベーブルースの記録を上回ることが世界エンターテインメントの最大の関心事になっています。

この私たちが朝から爽やかな気分してくれるのは報道の大きな力といえるでしょう。そこで広報を担当する者として報道と広報の違いは何かを考える切っ掛けになりました。ツールは同じでも取材を主体にして事実を公平に知らせるのが報道、会社や団体など活動主体や活動方針等を一般の人達に広く周知させ、かつ理解を求めることを目的にするのが広報と認識しております。

直近の茨城放送では歯みがきのルーツと歯ブラシの話をさせていただきましたし、経年的には歯科医師会活動の紹介や説明を行っています。また茨歯会報のなかでテーマ毎に設営された座談会の開催そして掲載なども大きなジョブ

と位置付けています。

今年の2月ごろから世界戦争に発展する危機をもったウクライナ戦争が始まりました。

核と化学兵器を禁じ手にした戦争とはいえ、コロナ禍の世界的な危機を巻き込んで混迷が深まるばかりです。この戦争の長期化は世界経済に大きな負のスパイラルとなって次の世代に大きなツケを残すことは必至です。ITの進化に起因する富の一極集中が顕著になっているところへさらに軍需産業、化石燃料産業にも集積する歪な世界産業構造になっています。

ウクライナ戦争の報道を見聞きすると、思わずこれが21世紀のことかと思うような基本的人権を無視した19世紀的なジェノサイドや近代的な町並みが瓦礫となった映像が延々と流れる一方、戦争当事国が宇宙ステーションに人間を打ち上げる映像もあり混乱が増すばかりです。そしてウクライナ軍事侵攻に対するロシアへの経済制裁により、さらに世界は万華鏡のように先が見えない状況になっています。

以前からITの進化を悪用したフェイクニュースの氾濫が問題になっていますが、ウクライナ戦争によるプロパガンダでマスメディアやソーシャルネットワーク等の媒体も迷走をはじめています。実際、戦争の直接の影響かどうかは明

確ではありませんが、じわじわと私たちの生活にも大きな影響が出ていることが実感できるようになっていきます。

いまだ残っている大震災の復興やコロナ禍ばかりで無く、非日常的なウクライナ戦争が早く収束する事を祈るばかりです。

さて最近のテレビ報道によると政府の「骨太の方針」のなかで「国民皆歯科健診」の導入を検討することが6月閣議決定されたとありました。さらに報道の中で日本歯科医師会堀憲郎会長の談話があり、今後3～5年を目途に取り組みを進めていく考えを述べています。日歯広報ではこの堀会長のメッセージをいち早く会員に伝えております。

テレビの報道番組でも早速国民皆歯科健診について取り上げられました。その中では国民皆歯科健診義務化を推進する大きな要因について「歯周病」など口腔内の疾患の予防が全身の健康を維持増進させることに直結していることを解説しています。一方で、健診の仕組みなどまだまだ課題は多く「具体的な制度のあり方」について引き続き検討が必要などの意見も紹介しています。

国民皆歯科健診義務化の狙いとはどのようなものか、ますます高まる超高齢社会の医療費の抑制、幸せを促進する健康寿命の延伸などでしょうか。欧米に比較して歯の関心が低いと言われる日本人、この歯・口腔の健康管理に対する関心を高め予防に対する医療を徹底すれば、おのずと高齢者は平均寿命と共に健康寿命が伸びる、幸せな生活を長く続けられると思います。

そこで日本の歯科健診の現状に目を向けてみると1歳半と3歳児、小中高校までが歯科健診を義務化されています。しかしその後は厚労省資料によれば1年以内に健診を受けた成人は2

人に1人という歯の関心が非常に低い実態があります。

この問題点を解決する為に私たちは広報ツールを駆使して歯、口腔管理の重要性について日常生活のなかに浸透させる、周知徹底させることが大きな命題となります。

欧米と日本の歯の健康への意識のレベルの例です。（以下TBSひるおび）

＊歯科医院に通う理由の1番：

アメリカ	歯の健康状態の診断	64.5%
スウェーデン	同じ	70.4%
日本	むし歯治療	66.6%

欧米は予防のために歯科医院に行き、日本は虫歯治療で通うという違いがあります。

＊次いで高齢者の歯の数の比較：

アメリカ	(75才)	18.4本	2004年
スウェーデン	(80才)	21.1本	2013年
日本	(80才)	15.3本	2016年

＊デンタルフロスの使用率：

アメリカ	61.1%
スウェーデン	51.2%
日本	15.4%

これらは歯に対する意識の目安になりますが、これでも日本人の意識の低さがわかります。

高齢者の健康の1番大切な要因は「睡眠と食事」が基本になりますが、いずれも8020運動で広報しているとおり全身の健康は歯・口腔の健康が基本であり必要不可欠なのです。

7月に入り参議院選も目前になって参りました。今後この方針の実現に向けて確実に前進していただけるよう期待したいところです。

今まさに歯科医療に関して社会にイノベーションが起きようとしています。そしてメディアで繰り返し広げられる思想の自由市場の競争を見守り、周知する絶好のチャンスにも思えます。

報道（メディア）の情報拡散力はすさまじいものです。広報は専門的な立場から校閲し、迅速な周知徹底が求められていると思います。

今後も「歯と口の衛生週間」、「いい歯の日」「良い歯の日」など語呂に合わせて様々なキャンペーンに肖り、「歯と口の健康」につい

てアナウンスする機会を通して、関心を高めるための広報を積極的に展開して参りたいと存じます。会員皆様方におかれましては広報委員会の活動にご理解ご協力賜り心より御礼を申し上げますと共に、今後ともどうぞよろしくご高配のほどお願いいたします。



株式会社岩瀬歯科商会 と 株式会社ウチャヤマ は ヘンリーシャインジャパンイースト株式会社 に社名変更いたしました

改めまして、私たちはヘンリーシャインジャパンイーストです！

We try best! -for healthy and white teeth-



事業所案内

宇都宮支店	宇都宮市平出工業団地37-6	TEL:028-613-5858
水戸支店	水戸市白梅2-8-18	TEL:029-225-6543
松戸支店	松戸市幸谷1504-4	TEL:047-345-3131
千葉支店	千葉市中央区浜野町879-1	TEL:043-305-1182
上野支店	台東区台東2-23-7	TEL:03-3832-8241
古河支店	古河市下山町9-60	TEL:0280-30-1582
福島支店	福島市鎌田字卸町4-1	TEL:024-552-1161
世田谷支店	世田谷区玉川台2-11-17-101	TEL:03-5491-7595
練馬営業所	練馬区豊玉北4-14-11 1F	TEL:03-5912-1180
横浜支店	横浜市磯子区中原2-1-19 1F	TEL:045-770-4182
前橋支店	高崎市京目町176-2	TEL:027-350-8241
厚木支店	厚木市酒井2087-14	TEL:046-228-5550
大宮支店	さいたま市見沼区東大宮7-41-1	TEL:048-688-1740
盛岡上堂支店	盛岡市上堂1-6-5	TEL:019-648-2777
盛岡本宮支店	盛岡市本宮6-24-43 1F	TEL:019-635-7750
東大和支店	東大和市立野3-640-1	TEL:042-590-5770
つくば営業所	つくば市花室940-6	TEL:029-863-0720
仙台支店	仙台市若林区荒井5-7-6	TEL:022-794-7066

理事会報告

第2回理事会

日 時 令和4年5月19日（木）午後4時

場 所 茨城県歯科医師会館 会議室

報告者 柴岡 永子

1. 開 会

2. 会長挨拶

3. 連盟報告

4. 報 告

(1) 一般会務報告

(3) 開業予定の歯科医院について

(4) 各委員会報告について

医療管理委員会、広報委員会、地域保健委員会、社会保険委員会、専門学校、フッ化物洗口プロジェクト委員会

(5) その他

5. 協議事項

(1) 第171回定時代議員会議案書（案）について

承認

(2) 令和3年度備品の廃棄処分について

承認

(3) 令和3年度茨城県心身障害者（児）歯科診療所運営費補助金実績報告書について

承認

(4) 第21回公開講座の後援及び補助依頼について（土浦石岡歯科医師会）

承認

(5) 関東地区歯科医師会役員連絡協議会のメインテーマ及び分科会テーマについて

分科会は2つ。

第一分科会は会長部会。

テーマは会長一任。

第二分科会は医療管理部会。

テーマはマイナンバーカード本人確認について。委員会一任。

(6) その他

・フッ化物洗口Q&AはHPにPDFで公開してあるので、必要な時に使用していただきたい。

・日本フッ化物むし歯予防協会からの来年度「虫歯予防全国大会」茨城県開催の打診については、フッ化物洗口事業展開に注力中のため見合わせることに決定。

【今後の行事予定について】

6月9日（木）16時から 第3回理事会

6月23日（木）14時から

第171回定時代議員会

7月21日（木）16時から 第4回理事会

会務日誌

- 5月19日 第1回備品・消耗品監査を執行。土浦センターと茨歯会館にて、土地、建物、備品、消耗品の管理保管並びに整備状況について監査を行った。
出席者 野堀監事ほか7名
- 5月19日 第1回業務会計監査を執行。業務並びに制度に関する監査（2月1日～3月31日）、会計に関する監査（令和3年度収支決算）を行った。
出席者 野堀監事ほか7名
- 5月19日 第2回広報委員会を開催。広報座談会原稿、会報6月号の校正編集作業、レディースコーナー、会報7月号について協議を行った。
出席者 柴岡広報部長ほか5名
- 5月19日 第2回理事会を開催。第171回定時代議員会議案書（案）、令和3年度備品の廃棄処分、第21回公開講座の後援及び補助依頼（土浦石岡歯科医師会）、関東地区歯科医師会役員連絡協議会のメインテーマ及び分科会テーマについて協議を行った。
出席者 榊会長ほか17名
- 5月19日 第2回選挙管理委員会を開催。日本歯科医師会代議員・予備代議員補欠選挙立候補者の資格審査について協議を行った。
出席者 堀江選挙管理委員長ほか9名
- 5月24日 県学校保健会理事会が県メディカルセンターにて開催され、令和3年度事業報告並びに決算報告ほかについて協議が行われた。
出席者 榊会長ほか3名
- 5月24日 第2回学術委員会をWEB会議として開催、第30回歯科医学会誌の校正、有病者歯科医療実践のためのスキルアップセミナー、CAD/CAM臨床研修会の開催、令和4年度生涯研修セミナー、学術シンポジウム、第31回歯科医学会について協議を行った。
出席者 鶴屋副会長ほか11名
- 5月26日 日歯認定歯科助手講習会の第1回目を開催。開講式の後、「歯科助手の心得」の講義が行われ、その後「一般教養」についてマナー講師の中村八恵子先生が講義された。
受講者 42名
- 5月26日 県食生活改善推進員協議会総会が県庁講堂にて開催された。
出席者 榊会長
- 5月26日 チャレンジいばらき県民運動総会がセキショウ・ウエルビーイング福祉会館（県総合福祉会館）にて開催された。
出席者 榊会長
- 5月27日 県栄養士会定時総会がザ・ヒロサワ・シティ会館にて開催された。

- 出席者 鶴屋副会長
- 5月27日 第134回都道府県会長会議が日歯会館にて開催され、時局問題について協議が行われた。
- 出席者 榊会長
- 5月27日 第1回オープンキャンパスを開催。ガイダンス、学校施設説明等について実施した。
- 参加者 26名
- 5月30日 全国歯科衛生士教育協議会関東甲信越地区第1回役員会がWEB会議として開催された。
- 出席者 大字校長
- 6月2日 第2回歯科助手講習会を開催。「歯科疾患の概要」「歯科診療の概要」「歯科医療の特質」について講義を行った。
- 受講者 41名
- 6月3日 日本歯科医学会第108回評議員会がWEB会議として開催され、学会務運営について協議が行われた。
- 出席者 榊日本歯科医学会評議員
- 6月8日 新規指定の個別指導が厚生局茨城事務所にて実施された。
- 対象医療機関数 6

センター center だより

(公社)

茨城県歯科医師会口腔センター水戸 センター長に半沢篤氏就任

(公社) 茨城県歯科医師会口腔センター水戸(開設者 榊正幸)では、本年3月末日で退任された竹上勝夫氏の後任として、4月1日付けで同センター長に半沢篤氏が就任しました。

同氏は、平成22年3月東京歯科大学卒業後、平成28年3月同大学院歯科学研究科(歯科麻酔学専攻)を修了し、同年4月洛和会音羽病院歯科麻酔科常勤医局員、平成29年東京歯科大学口腔健康講座助教医局長、令和4年同大学口腔健康講座講師を歴任、また、日本麻酔学会認定医、歯学博士、日本障害者歯科学会認定医でもあります。

口腔センター水戸は、昭和47年7月に前身である茨城県身体障害者・小児歯科治療センターが開設され本年50周年を迎えます。これまで多数の関係者の献身的な尽力により、同口腔センター土浦と共に本県の障害者歯科診療、小児予防歯科の普及向上に努めてまいりました。

同氏は、常勤医局員として日祭日を除く月曜日から金曜日までの週5日勤務され、他の非常勤医

局員と共に歯科医師2～3名の体制で、障害者歯科診療を行っています。

同氏は就任にあたり「先任の諸先生方が築かれてきた本センターを引き継ぐ重責を与えられたことに、身が引き締まる思いであります。近年、医療技術の進歩により、多くの方々が何らかの疾患や障害を持ちながら生活をする時代となりました。従来の障害者歯科という枠組みにとらわれず、様々な配慮が必要な方々の歯科医療に努め、茨城県地域のスペシャルニーズ歯科に少しでも貢献できますよう努力してまいります。」と抱負を述べられました。

本県の障害者歯科診療、小児予防歯科の更なる発展に寄与されることと関係者から大きな期待が寄せられています。





【第1回オープンキャンパス】

5月27日（金）、本校に於いて第1回オープンキャンパスが開催されました。

例年、歯科技工士科・歯科衛生士科、それぞれの科別の参加募集となっておりましたが、今年度より2科合同での開催となり、26名の参加がありました。

学校説明の後に、各科の校内見学と実習見学を行いました。歯科衛生士科は1年生の印象練と実習と歯牙スケッチ実習の見学、歯科技工士科では1年生の全部床義歯製作と、2年生の前装冠ブリッジの製作の実習を見学していただきました。高校生の見学があることで、在校生は緊張しつつも数年前の新鮮な自分を思い出していた様子です。

さらに歯科医院と同じユニットや技工設備がある実習室を見学することで歯科医療の専門職の学校であることや、さらに歯科医療の魅力が伝わったことと思います。

付き添いの保護者の方の見学も多く、質疑応答ではメモをとりながら熱心に説明に耳を傾けていました。

今後もより多くの生徒の皆さんが本校への理解を深め、高校生が歯科医療の専門職を目指した進路を選択して入学してくれることを願います。

（文責 庄司）

水戸市・東西茨城・珂北歯科医師会 三地区合同学術講演会のご案内 (Zoomウェビナーを用いたオンライン開催)



子どもの歯を守る、外傷歯の迅速かつ適切な対応のために 知ってほしい小児歯科の話

令和4年7月24日（日）10時～13時

塩野歯科医院 塩野康裕 先生

【略歴】 平成15年 水戸第一高校卒業
平成22年 九州歯科大学卒業
平成27年 九州歯科大学大学院修了（小児歯科学・博士）
平成29年 日本小児歯科学会専門医
平成29年 塩野歯科医院勤務

「歯科医はいつ何時でも外傷の患者さんの来院にそなえて心構えしていなくてはならない」

研修医時代に私は母校の小児歯科学講座で指導医にそのように指導を受けました。

歯の外傷の患者は予約無く突然のタイミングでやってきます。患児も保護者も出血や歯の動揺、時には脱落によって平常心ではいられないケースも散見されます。歯科医師や院内スタッフは患児や保護者の気持ちに寄り添いながらも冷静に対応しなくてはなりません。歯の外傷が発生した際に患者、保護者、医療者がそれぞれ迅速かつ適切に対応するためには十分な知識と準備が必要と考えます。

本講演では歯の外傷について7つの症例を、それとあわせて私が地域で取り組んでいる歯の外傷に対する啓発活動について紹介いたします。また、歯の外傷と鑑別すべき疾患、診療の際に必ず念頭に置くべきポイントについても紹介いたします。

【参考文献】



歯の外傷治療のガイドライン 日本外傷歯学会

<https://www.ja-dt.org/file/guidline.pdf>

臨床医のための小児歯科 Basic & Casebook デンタルダイヤモンド 2022

小児歯科はじめましょう デンタルダイヤモンド 2020

小児歯科学 第5版 医歯薬出版株式会社 2020

歯界展望 Vol.134 医歯薬出版株式会社 2019

小児歯科学専門用語集 第2版 日本小児歯科学会 2019

外傷歯のみかたと対応 医歯薬出版株式会社 2018

新小児歯科学 第3版 クインテッセンス出版 2009

主幹：水戸市歯科医師会学術委員会〔mito.ga.pub@gmail.com〕

担当：岩間張良・上野卓也

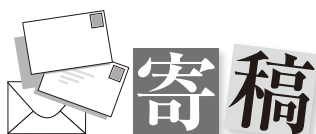
理事：高根正敏

お申し込みはこちら

※事前登録が必要です
(7/10㍻切)



1. 1週間前に案内のメールが届きます
2. 当日はメール内のURLよりご参加ください



「フッ化物洗口」の今日まで、そして明日から

フッ化物洗口プロジェクト委員会 副委員長 柴崎 崇

1. 今日まで

茨城県は「フッ化物洗口」後進県

都道府県魅力度ランキング最下位の茨城県は、フッ化物洗口においても残念ながらほぼ最下位レベルです。魅力度ランキングについてはそのまま納得する県民はほとんどいないと思いますし、話題性の点でおいしい面もあるようです。しかしながらフッ化物洗口の後進県であることにメリットはありません。DMF指数のランキングで茨城県が毎年下位に甘んじている一つの要因とも言われています。

ところが近年、とくに昨年から風向きは確実に変わってきました。茨城県における「フッ化物洗口推進事業」は間違いなく拡大傾向にあります。幼稚園などの就学前施設においては、数年前よりモデル地区を設定し推進事業に努めてきた結果、確実に実施施設が増えてきています。そして昨年からは、小学校においてフッ化物洗口を推進する方針が打ち出されました。これまで茨城県でフッ化物洗口を行っている小学校は全くのゼロでした。昨年後半、まずモデル校として5校が選出され、12月に東海村にて実施されたのを皮切りに、ひたちなか市、つくばみらい市、鹿嶋市、行方市の小学校においてフッ化物洗口が開始されました。令和4年度は、県教育庁により県内44市町村すべてで1校のモデル校を指定し、実施していく目標が

掲げられています。そして行く行くは県内全域の小学校において幅広くフッ化物洗口を展開していく予定です。

令和4年度の茨城県の方針

①就学前施設におけるフッ化物洗口

令和4年度中に県内のすべての就学前施設でのフッ化物洗口開始を目指す。

②小学校におけるフッ化物洗口

令和4年度中に県内44市町村で各1校のモデル校においてフッ化物洗口開始を目指す。

このように、今年度は茨城県におけるフッ化物洗口のターニングポイント、言わば「フッ化物洗口元年」になるものと思われます。

フッ化物洗口の現在地

就学前施設と学校では行政側の管轄が異なりますので、2つに分けてそれぞれの進捗状況をまとめてみます。令和4年3月末現在の状況です。

①就学前施設（幼稚園・保育所・認定こども園）

県保健福祉部の事業

- ・令和3年度に新規にフッ化物洗口を開始した施設数 59施設（人数2,300人）
- ・現時点でのフッ化物洗口施設数 148施設（人数6,157人）

- ・令和3年度補助金申請：10市町村
大洗町、常陸大宮市、日立市、北茨城市、
石岡市、境町、龍ヶ崎市、阿見町、土浦市、
坂東市（東海村は村単独予算により一部施設で実施）
- ・令和4年度補助金申請予定
笠間市、小美玉市、ひたちなか市、那珂市、
大子町、常陸太田市、高萩市、潮来市、神栖市、
行方市、守谷市、美浦村、かすみがうら市、
結城市、下妻市、筑西市、桜川市、古河市
※実施予定なしとした7つの市町村(取手市、
牛久市、つくば市、常総市、つくばみらい市、茨城町、鹿島市)については、市町村訪問等により事業の実施を働きかける方針。

②小学校 県教育庁の事業

- ・令和3年度にフッ化物洗口を開始した小学校数（モデル校）5校（人数219人）
- ・令和4年度モデル校としての候補校（決定または予定）は以下の通り
北茨城市 華川小（6月開始予定）
大子町 依上小
小美玉市 竹原小
大洗町 大洗小・南小（2校）
城里町 七会小
笠間市 岩間二小
石岡市 吉生小
つくばみらい市 豊小（昨年度モデル校）
つくば市 上郷小
結城市 山川小
（以下、候補校として検討中）
鹿嶋市 鉢形小か豊津小
鉾田市 旭北小
行方市 北浦小（昨年度モデル校）
美浦村 安中小
利根町 布川小

八千代町 川西小
筑西市 村田小

学校歯科委員会の設置状況

そこで我々歯科医師、とくに学校歯科医の役割は重要となってきます。今まで就学前施設に関しては「地域保健委員会」がその役割を担ってきましたが、小学校において実施されるようになると「学校歯科委員会」の範疇になろうかと思います。そこでまずは各地区の「学校歯科委員会」がどのような状況であるかを調べてみました。

地区	学校歯科委員会	人数	備考
日立	○	6名	
珂北	△	1名	ひたちなか歯会に3名、他地区は未確認
水戸	○	6名	
東西茨城	—	(9名)	地域保健、学校歯科部会合同で9名が担当
鹿行	○	16名	
土浦石岡	土浦 ○	6名	
	石岡 —	1名	県歯地域保健委員が担当
つくば	○	14名	
県南	—	(8名)	保健委員会(学校、地域、介護)内で担当
県西	—	2名	地域保健委員会内で担当
西南	△	1名	学校歯科医が担当だが活動実績なし

「フッ化物洗口推進委員会」設置

このように各地区の組織形態は様々です。これはその地区の事情や方針によるもので、あたりまえですが統一性を図るような必要も要望もあります。しかしながら、これからのフッ化物洗口事業の拡大を見据えると、どうしても対応困難な事態に陥ることが予測されます。そこで各地区に新

たに「フッ化物洗口推進委員会」の設置をお願いすることとなりました。3月開催の「地区会長協議会」にて提案させていただき、全地区から承認を得られました。この場を借りてあらためて地区長の先生方に感謝申し上げます。

また、これに伴い各地区に設置するのであれば、県歯にも同様の委員会が必要ではないかというご意見をいただき、県歯にも設置することとなりました。県歯の「フッ化物洗口委員会」は地域保健委員会から5名、学校歯科委員会から5名を選抜させていただき、4月の理事会にて承認されました。

4月末までに県歯および全10地区で委員構成が定まり、すでにほとんどの地区において委員会や研修会開催等の活動が開始されています。以下にそれぞれの名簿を掲載いたします（名簿は先月の会報にも同封させていただきましたが、一部訂正がありましたのであらためて掲載させていただきます。）。

茨城県歯科医師会

「フッ化物洗口プロジェクト委員会」

1 目的

学校および就学前施設における「フッ化物洗口推進事業」について、各地区に設置される「フッ化物洗口推進委員会」ならびに「学校（園）歯科医」と情報を共有し、フッ化物洗口の推進を図る。

2 活動内容

各地区における「フッ化物洗口推進委員会」の活動をサポートする。

- ・学校（園）歯科医を対象とした研修会・勉強会等の開催の支援。
- ・学校（園）関係者を対象とした研修会・説明会等の開催の支援。
- ・県歯から地区の委員会への情報発信及び共有。
- ・その他、必要に応じて地区における「フッ化物洗口推進事業」に対しての支援を行う。

茨歯会・フッ化物洗口プロジェクト委員会名簿

役職	地区	氏名
委員長	土浦石岡	鶴 屋 誠 人
副委員長	日 立	北 見 英 理
副委員長	県 西	柴 崎 崇
委 員	日 立	薄 井 克 巳
委 員	珂 北	葛 城 康 維
委 員	水 戸	関 根 靖 浩
委 員	東西茨城	鈴 木 聡 美
委 員	鹿 行	内 堀 史 朗
委 員	土浦石岡	土 屋 雄 一
委 員	つ く ば	高 田 将 生
委 員	県 南	大 里 一
委 員	県 西	保 坂 榮 勇
委 員	西 南	長 澤 篤
事 務 局		藤 田 かおり
事 務 局		清 水 百合子
事 務 局		村 松 康 子

各地区の「フッ化物洗口推進委員会」（P13 表）

活動内容

- ・学校（園）歯科医を対象とした研修会・勉強会等の開催。
- ・学校（園）関係者を対象とした研修会・説明会等の開催。
- ・フッ化物洗口実施校（園）及び担当歯科医師に対するサポート。

地区で実施される研修会等に対する助成について

1 助成内容

就学前施設および学校におけるフッ化物洗口を推進することを目的として、歯科関係者等を対象に地区で実施する説明会や研修会に係る経費について、茨城県歯科医師会より各地区8万円を上限に助成を行う。複数地区合同開催やオンライン研修についても助成対象とする。

研修会等の開催期限は令和4年10月31日（月）とする。

市町村	委員		委員		委員		委員	
日立地区「フッ化物洗口事業プロジェクトチーム」								
北茨城市	会長	渡邊嘉彦		佐藤 学				
高萩市	会長	茂又宏徳		滝 靖宗				
日立市		渡邊恭伸	学校	薄井克巳				
河北地区「フッ素洗口プロジェクトチーム」								
那珂市	地区会長・会長	小林克男		塩野康裕				
常陸太田市	会長	高倉 篤		梶山俊一				
常陸大宮市	会長	高橋 健		立原輝明		飯塚知明		
ひたちなか市	会長	平田輝行	学校	青砥聖二	地域	葛城康維		樋之口修一
大子町	会長	鈴木正美		中井弘道				
東海村	会長	伊藤勝夫		伊藤佑樹		小泉雄二郎		
水戸地区「フッ化物洗口推進プロジェクト委員会」								
水戸市	地区会長・会長	田澤重伸	副	松崎浩成	副	櫻川次郎		
		宮田宗広		小林ゆかり	学校	関根靖浩		
東西茨城地区「フッ化物洗口推進委員会」								
小美玉市	会長	木村守隆	学校	國府田美葉				
笠間市	会長	湊 隆夫		太田一三				
桜川市	会長	仁平哲夫	(県西)	吾妻周一				
茨城町	会長	有波三千晴						
大洗町	会長	加部東正雄		土子吉久				
城里町	会長	玉川台俊	地域	鈴木聡美				
鹿行地区「フッ化物洗口推進委員会」								
潮来市	会長	小日向宏	学校	内堀史朗	地域	重藤良平		
鹿嶋市	会長	重藤一良		宮作千恵子		宮作泰弘		
神栖市	会長	石橋英郎		谷口秀和		人見智行		
行方市	会長	高野秀勝		井坂 徹				
銚田市	会長	石崎雄司		田崎良生				
土浦石岡地区「フッ化物洗口プロジェクト委員会」								
石岡市	地区会長	福田健一		佐古田智		平井 豊		足立宗行
かすみがうら市		色川卓男	地域	土屋雄一				
土浦市	会長	長谷川周		荻野義重	学校	高木幸江		
阿見町		沼尻道夫		寺澤秀朗				
つくば地区「フッ化物洗口プロジェクトチーム」								
つくば市		鶴見尚史	学校	高田将生		串田幸子		長田重徳
		池島英雄		菊地英貴		佐藤玲子		三上 礼
		岡田倫子		大場祐輔				
つくばみらい市	地域	根本 光		海老原一芳		橋本満之		益子正範
県南地区「フッ素洗口特別委員会」								
稲敷市	会長	清原秀樹	地域	大里 一				
牛久市	会長	宮本克樹		矢貫貴一郎				
取手市	会長	橋中健彦	学校	櫻井英人		安達真由美		
守谷市	会長	小原俊彦		染谷光一				
龍ヶ崎市		河合竜志		石川智之				
利根町		(取手市と兼任)						
美浦村		(稲敷市と兼任)						
河内町		(稲敷市と兼任)						
県西地区「フッ化物洗口推進プロジェクトチーム」								
桜川市真壁町		吾妻周一						
下妻市		金子満昭						
常総市	会長	生井宏明		白澤光二				
筑西市		津田 哲		阿部昌史				
	学校	原田和弥		串田淳子		菊地義宏		
結城市	地域	保坂榮勇						
八千代町	会長	小田島卓也						
※オブザーバー参加	地区会長	青木秀史	学校歯科理事	柴崎 崇				
西南地区「フッ化物洗口推進委員会」								
古河市	地区会長・会長	橋本正一	学校	長澤 篤				
坂東市	会長	保科 守						
境町	会長	遠藤良平	地域	鈴木哲之				
五霞町								

2 対象経費

報償費：講師への謝金、スタッフ日当
旅費：講師、スタッフ等への交通費
印刷製本費：資料印刷代等
消耗品費：研修会等で使用する消耗品等

3 提出書類、期限

(1) 提出書類：実施計画書及び計画内容

提出期限：令和4年7月29日（金）

(2) 提出書類：実施報告書及び報告内容

提出期限：事業終了後1か月以内

※様式等の詳細は「県歯事務局」または「フッ化物洗口プロジェクト委員」に確認のこと。

実施校（園）担当歯科医師への資料送付

フッ化物洗口のモデル校に選出された学校歯科医および新たに実施される園歯科医師に対して、フッ化物洗口の資料を送付いたしますのでご活用ください。

1. 冊子「茨城県フッ化物洗口マニュアル」
2. 冊子「フッ化物洗口Q & A」
3. 茨城県歯科医師会作成のフッ化物洗口動画（パソコン再生用動画データ）
 - ①「はじめましょう！フッ化物洗口」（大人向け・約12分）
 - ②「ふっそのうがいでむしばよぼう」（こども向けアニメーション・約4分）

この動画は、県歯科医師会ホームページ（下記）にも掲載しております。

<掲載ページ>トップページ→

「8020・6424情報センター」→

「はじめてみませんかフッ化物洗口」内

「フッ化物洗口の動画ができました！」

4. リーフレット「クチュクチュうがいでむし歯予防」
5. リーフレット「フッ素を使って家族みんなでむし歯を予防しよう」
6. リーフレット「フッ素で強い歯丈夫な歯」

7. リーフレット「オラブリス® 洗口用顆粒 11%」

※このほかパワーポイントなどの資料もございます。茨歯会事務局・村松までお問い合わせください。

2. そして明日から

（注）フッ化物洗口推進事業に関しては、ご承知のようにもともと賛否両論ある上に、同じ「参」の立場の中でも認識のずれや方法論の違いなどによりかなり温度差があります。今回は、県歯を代表しての公式見解ではなく、あくまで個人的な意見として述べさせていただきたいと思います。

集団フッ化物洗口になじみがなかった茨城県においては、これまでフッ化物洗口というと、専門性の高い分野で、特定の知識を持った歯科医師が携わるものという認識だったのではないのでしょうか。自分も数年前まではそのように考えていました。しかしながら、その認識は少し改める必要があります。特別な世界のように構えてしまうことは事業の発展に際してけっしてプラスには働きません。歯科医師が担うべき役割としては、フッ化物洗口が軌道に乗るまでの、説明・指導・見守り等ですが、ハッキリ言って特別難しい知識は必要としません。歯科医師（学校医師会）なら、わずかな時間の研修でどなたでも簡単に理解できるし、担当することができます。とくに資格が要るわけでもありません。みんなで推進する事業です。みんなでフッ化物洗口のハードルを下げていきましょう！

具体的には、これだけやっていただければOKです。

- ①一度研修会に参加する。
- ②県歯発行の「フッ化物洗口マニュアル」を読む。
- ③県歯発行の「フッ化物洗口Q & A」を読む（疑問の個所だけでもOK）。

④県歯HPに掲載のフッ化物洗口動画（2本）を観る。

これだけで基礎知識は十分身に付くと思います。さらに疑問点などがある場合は、各地区または県歯の「フッ化物洗口委員会」まで問い合わせいただければよろしいかと思います。

動画を見ていただければわかりますが、現場で実際にやることはごく単純な作業です。フッ化物の溶液をお口に含んで30秒～1分間クチュクチュしてから吐き出す、ただそれだけのことです。

フッ化物洗口に反対する意見として「もし誤って飲んだらどうするのか！」ということを言われます。それだったら液体ハミガキやうがい薬などについても同じことがいえるはずですが、でもそんな話は聞こえてきません。「うがい薬を誤って飲んだらどうする！だからうがい薬は使うべきではない！」なんて言う人はいませんね。なぜかフッ化物に対してだけそんなことを言われます。しかしそれならむしろフッ化物の方が安全とも言えます。万が一飲み込んでしまっても体に影響はありません。非常識な量をガブガブ飲まない限り健康に影響は出ません。事実、今までどこでも一度も事故は起きていません。フッ化物洗口は安全です。

もう一つ、反対する意見として「学校は忙しいのでこのために時間をかけられない」ということを言われます。たしかに教職員が多忙であることは周知の事実です。しかしながら、幼稚園などが基本的に毎日の実施であるのに対して、小学校では週1回法です（濃度が異なります）。これは口腔衛生に対する認識の違い、あるいは（時間を含めた）

費用対効果の問題になるかもしれません。口腔衛生の重要性を考えると、週1回だけ10分程度の時間をかけることでむし歯予防ができれば十分効果的と思いますが、皆様はいかがお考えでしょうか。

このようにフッ化物洗口というと、まず「反対意見が多い」「抵抗が根強い」ということが聞こえてきます。しかしこの事業に携わるようになって知ったのは、反対意見のほとんど（いや、全部か？）は誤解や理解不足によるものだということです。安全性についてはキッパリ「安全です！」と言い切ってよいと思います。もちろん医学的に100%安全はあり得ませんが、「現実的に安全」です。ただしそれに要する時間については、ごく短い時間とはいえ養護教諭など担当者に負担をおかけするのは事実なので、口腔衛生の重要性の面から理解を求めることが必要となるでしょう。

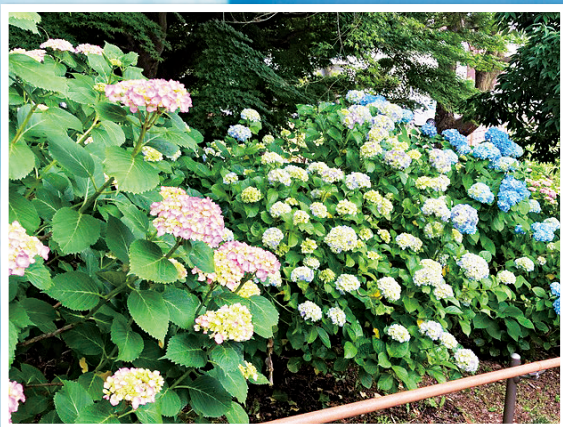
昔は、学校で昼休みに歯みがきをする習慣はありませんでした。今では何の問題もなくそれが常識になっています。そこに、もう一つたった週1回のフッ化物洗口を加えていただくだけなので、十分可能だと思うし価値のあることと自分は理解しています。「歯みがきするようにフッ化物洗口をしよう！」

茨城県において、フッ化物洗口が習慣化することで幼児期のむし歯が減少し、口腔衛生に対する意識が向上することにより、ひいては健康寿命の延伸に繋がることを願います。

※新たにモデル校の指定を受けた学校歯科医の先生は、県歯・事務局または県歯・フッ化物洗口プロジェクト委員までお知らせください。

みんなの写真館

Photo
Gallery



(社) 珂北歯科医師会 成井 敏幸

会 員 数

令和4年5月31日現在

地 区	会員数(前月比)	
日 立	116	
珂 北	143	
水 戸	155	
東西茨城	74	
鹿 行	101	
土浦石岡	178	-1
つくば	142	+1
県 南	175	±0
県 西	154	-1
西 南	102	+1
準 会 員	9	
計	1,349	±0

みんなの写真館写真募集！

このページには皆さんからの写真を掲載できます。表紙写真に関連した写真、ご自宅の古いアルバムに埋もれた写真などをお送り下さい。

1種会員	1,138名
2種会員	85名
終身会員	117名
準 会 員	9名
合 計	1,349名



Ibaraki Dental Association

公益社団法人 茨城県歯科医師会

茨 歯 会 報

発行日 令和4年7月

発 行 茨城県歯科医師会 水戸市見和2丁目292番地の1

電 話 029(252)2561~2 FAX 029(253)1075

ホームページ <http://www.ibasikai.or.jp/>

E-mailアドレス id-05-koho@ibasikai.or.jp

発行人 渡辺 進

編集人 柴岡 永子



この会報には、環境に配慮して植物油インキを使用しております。